

## 授業が教材を作る

—学習者の興味に合った旬の教材で会話授業を行なうために—

Classes Make Materials:

To Conduct a Conversation Class Using Materials that Are Relevant and Match Students' Interests

渡辺 浩子 (清州大学校)

Watanabe Hiroko (Cheongju University)

## 要 旨

筆者は、大人数でレベル差の大きい日本語会話のクラスのための教材及び教授法である「ガイドド・インタビュー (Guided Interview)」を開発した。「ガイドド・インタビュー」の教材を効率よく作成・改善するためには、授業をリソースの収集の場として活用する。そこで集まったリソースは、学習者の興味にあった旬の教材となる。

I created the -Guided Interview- as a new conversational learning approach and material for a large, varied classroom setting. To form or reform materials for the -Guided Interview- effectively, I make use of classes as occasions to gather resources. Those resources become materials that are relevant and match students' interests.

【キーワード】 ガイドド・インタビュー (Guided Interview) , 教材の作成・改善,  
学習者の興味に合った旬の教材, 大学生, 学習者の発想

## 1. はじめに

筆者は、以下のような、大人数でレベル差の大きい日本語会話のクラスのための教材及び教授法である「ガイドド・インタビュー (Guided Interview)」を開発した。(渡辺 2007)

### 【教材例】

#### うた 歌

A : \_\_\_\_\_さんは、歌を歌うのは好きですか。

B : \_\_\_\_\_

A : そうですね。カラオケにはよく行きますか。

B : \_\_\_\_\_

A : そうですね。カラオケでは、どんな歌をよく歌うんですか。

B : \_\_\_\_\_

A : そうですね。\_\_\_\_\_さんの十八番は何ですか。

B : \_\_\_\_\_

A : そうですね。難<sup>むずか</sup>しい歌は、誰の歌ですか。

B: \_\_\_\_\_

A: そうですね。日本の歌で歌えるものはありますか。

B: \_\_\_\_\_

A: そうですね。\_\_\_\_\_さんが、歌うときの声は、<sup>ふだん</sup>普段の声と同じですか。

B: \_\_\_\_\_

A: <sup>ほか</sup>他の人からは\_\_\_\_\_さんの声はどんな声だと言われますか。

B: \_\_\_\_\_

A: そうですね。\_\_\_\_\_さんは、歌いながら踊りますか。

B: \_\_\_\_\_

A: そうですね。ところで、カラオケに行くときは、<sup>だれ</sup>誰と<sup>いっしょ</sup>一緒に行くんですか。

B: \_\_\_\_\_

A: そうですね。\_\_\_\_\_さんの<sup>まわ</sup>周りにマイクを<sup>にぎ</sup>握ったら<sup>はな</sup>離さない人はいますか。

B: \_\_\_\_\_

A: ああ、やっぱりいるんですね。じゃあ、<sup>おんち</sup>音痴の人はいますか。

B: \_\_\_\_\_

A: そうですね。\_\_\_\_\_さんは、他の人が歌っているときは、何をしていますか。

B: \_\_\_\_\_

A: ふうん。ところで、\_\_\_\_\_さんは、大勢の人の前で歌を歌ったことはありますか。

B: \_\_\_\_\_

A: そうですね。じゃあ<sup>かしゆ</sup>歌手になりたいと思ったことはありますか。

B: \_\_\_\_\_

A: そうですね。歌が<sup>じょうず</sup>上手になるためには、どんな<sup>れんしゅう</sup>練習をしたらいいですか。

B: \_\_\_\_\_

A: なるほど。\_\_\_\_\_さんが好きな歌手は<sup>だれ</sup>誰ですか。

B: \_\_\_\_\_

A: そうですね。ところで、歌が<sup>へた</sup>下手な歌手もいると思いますか。

B: \_\_\_\_\_

ガイドド・インタビュー (以下, GI とする) の授業の進め方は以下のとおりである。

①教師が質問文を読み、学習者が教師に続いて読む。

- ②教師が質問の意味と意図を説明し、答え方の例を挙げる。
- ③教師がBの答える側になり、Aを学習者のうち一人が担当し、クラス全員の前で対話をする。
- ④学習者がペアを組んで対話を行う。
- ⑤その間、教師は教室内を巡回し、助言をしたり質問に答えたりする。
- ⑥学習者がペアで対話を発表する。

G Iの主な目的は、「全員が発話し、個々のレベルに合ったタスクをこなし、さらにすべての学習者が楽しめる授業を行う」というものであるが、この目的を高い水準で達成・維持するためには、学習者に合わせたG I教材の作成・改善が欠かせない。

また、G Iの教材を他の教師の方に使っていただいたところ、「教材は使いやすいが、こういった質問を自分で作るのは困難」という意見が聞かれた。G Iの教材が容易に作成できるような方法があれば、教材のバリエーションも広がるであろう。

本稿で述べたいのは、大学生を中心とした学習者の興味に合った旬の会話教材の効率的な作成・改善法である。

## 2. 学習者の興味に合った旬の教材はなぜ必要か。

筆者は韓国の大学で日本語の会話の授業を担当しているが、大学生の多くは、普通の会話のテーマがだいたい決まっていて、興味の幅が狭く、新しい話題になじまないという傾向がある。日本語学校（韓国では「学院」と言われている）で授業を受け持つ教師の話聞いてみても、大学生は主婦や会社員といった他の学習者に比べ知識が浅く、特定のテーマにしか関心を示さず、話題が広がりやすく、受け身であるという。そのため、大学生を対象としたクラスでは、話題は特に吟味しなければならないようである。

筆者の経験からでは、大学生の場合は、興味の対象を知り話題を選んでいくことと、答えやすい質問をしていくことが、発話を引き出すのに効果的な方法であるといえる。学習者が既に持っている知識や情報を軸に興味を引きつけ話題を発展させれば、会話が進みやすいようである。

また、大学生を動かす場合、特に現代を反映した旬の教材が求められる。教科書の賞味期限は5年という話を聞いたことがあるが、大学生対象の会話教材の場合、1、2年前の教材でも学習者とのずれを感じてしまう。社会人であれば3年前の話題もそれほど古いとは感じないが、多くの大学生にとって3年前は高校時代であり、相当に「昔」である。特に携帯電話や写真など、最新の技術が反映される話題は、1年前に作成した教材がもう古いものになってしまうこともある。

したがって、特に大学生などの若い世代には、授業のたびに教材を作成・改善し、旬の教材で授業を行なう必要がある。

もちろん、大学生以外の学習者の場合でも学習者の興味に合った旬の教材であるに越したことはない。

## 3. 学習者の興味に合った旬の教材の作成及び改善

G Iの教材は質問が箇条書きにされたものである。ここではその質問の作り方を中心に述べる。

### 3-1 質問を作るための発想法

筆者は、次のように質問を作っている。

①テーマを決めたら、『角川類語新辞典』を用いて関連語彙を調べ、そこから発想して質問を作る。

②以下のような「質問チェックリスト」を使い、質問を作っていく。「質問チェックリスト」は、自分に関する事柄から周囲、社会一般の事柄ように対象範囲が広がり、また、現在から過去、未来・仮定のような時間軸で対話が進むようになっている。さらに、はじめのほうはやさしい質問で、後のほうになるほど難易度の高い質問が作れるように構成されている。

※ 以前使用したG Iの教材を改善する場合も①②の方法で見直しを行なっていく。

#### 【質問チェックリスト】

自分	現在	いつも～しますか。
		毎日～しますか。
		よく～しますか。
		今～をしていますか。
		自分は～だと思えますか。
		どんな～が好きですか。
		いつ～しますか。
		だれと～しますか。
		どこで～しますか。
		何で～しますか。
	過去 経験	～たことがありますか。
		印象に残った～は何ですか。
		初めて～たのはいつですか。
		以前はどうでしたか
		忘れられない思い出はありますか。
未来・仮定	今後、どんな～がしたいですか。	
	もし、～たら、どんなことをしたいですか。	
周囲	現在	周りに～な人はいますか。
		家族の中で一番～な人は誰ですか。
対象の分析・意見	現在	いいところは何ですか。
		悪いところは何ですか。
		楽しいことは何ですか。
		大変なことは何ですか。
		おすすめの～はありますか。

	どんなものがあつたらいいですか。
	～と～はどんなところが違いますか。
	どう思いますか。
	どんなサービス／施設があつたらいいと思いま すか。
	変だと思ったことはありますか。
社会・一般・メデ ィア	いちばん人気がある～は何ですか。
	どんな～が流行していますか。
	有名人の中で～誰ですか。
	流行したことはありますか。
	ニュースになったことはありますか。
	変な～はありますか。
	～をテーマにしたドラマ・映画にはどんなものが ありますか。
	どんな社会問題がありますか。
	どんなビジネスができますか。
	～関係の仕事をしたいと思いませんか。

### 3-2 授業のリハーサル

学習者と共通項の多い人物（学習者が大学生なら、大学生）に学習者の代役となつてもらい、会話の授業のリハーサルを行ない、質問の妥当性を検討する。このときの反応から答えにくい質問を削除していく。また、他にどんな質問ができるか尋ねて、出てきた質問のうち妥当なものは教材に取り入れる。

### 3-3 授業における質問収集

G Iの教材を使用しながら気づいたことは、学習者が新しい質問を作り出していくという現象である。

学習者に必ず一つ以上教材にない質問をするように指示すると、学習者は、対話の流れの中から自分の発想で質問を作る。教師は教室巡回時や、学習者の発表時に質問を集める。

### 3-4 レポートからの質問収集

学習者に、自由なテーマで、G Iの教材のような二人の人物が対話をしているシナリオ形式のレポートを書いてくるように指示する。レポートに、時折学習者の発想による質問が見られるので、それらを収集する。

### 3-5 会話のテーマについてのアンケート調査

学期の終わりに、一つ一つのテーマが話しやすかったか否かのアンケートを採る。また、話したいテーマについて自由に書かせる。この結果を次の授業の教材に反映させる。

#### 4. 学習者の発想による質問と教材

G Iの教材は、授業前のリハーサル及び授業を通じて、その時節を反映した教材に作り変えることができる。これは、世代や時代による学習者の変化に対応した、旬の教材となる。

「歌」というテーマで、会話の授業をしたとき「歌を歌うのは好きですか。」「カラオケでは、どんな歌をよく歌うんですか。」「大勢の人の前で歌を歌ったことはありますか。」といった、質問を中心に授業を行なったところ、学習者が「カラオケに行く前に何をしますか」という質問を作って、「お酒を飲みに行きます。いつもお酒を飲んでからカラオケに行きます。」という答えを引き出した。筆者は、「歌」から「お酒」は発想できなかったが、多くの韓国の大学生にとっては「歌」と「お酒」切り離せないものである。

「携帯電話」というテーマでは、「誰に電話をかけることが多いですか。」「恋人に電話をかけたら、最初に何て言いますか。」等、電話としての使い方を中心とした質問で会話をしたが、学習者は、「\_\_\_\_\_さんの携帯には、どんな機能が付いていますか。」や「どんな携帯ストラップが付いていますか」「どんな機種に買い換えたいですか」等の質問を作り、携帯の機種そのものに関心が高いという傾向が見えた。

こういった質問を教材に加え、学習者の反応が悪かった質問は教材から削除するようになると、教材の内容が増えると同時に学習者に合った質問に絞り込んでいくことができる。

また、こういった実践を続けることによって、学習者の興味の傾向もわかり、他のテーマで教材を作成するときの参考にもなる。

#### 5. おわりに

本発表では、授業は教材作成・改善のためのリソースの収集の場として活用することができ、そこで集まったリソースは、学習者の興味にあった旬の教材となるため、効率的に教材作成・改善ができるということを述べた。

このことは、最初から目的としていたのではなく、授業時の学習者の動きから、より学習者に合った教材を作成・改善できる可能性を見いだした結果である。ほかの既存の教材でも学習者の発想を取り入れるということは、なされていると思うが、G I場合、授業の流れの中から出てきた質問が、そのまま教材となるので効率よく教材作りができることに特長がある。

他にも学習者の発想を取り入れやすい教材として、ディベート(細かい規則があつたり、裏づけとなる資料を収集する必要がある本格的なディベートではなく、身近なテーマで簡単な討論を行う、いわゆる「ミニ・ディベート」)のテーマや、ロールプレイの状況と役割の設定などがある。

ディベートでは、グループごとに次のようなリストからテーマを選択し、ディベートを行ったあと、他にどんなテーマが考えられるか、発表してもらう。

ミニ・ディベート

### テーマ

- 1 A：乗り物の中の携帯は禁止したほうがいい。  
B：乗り物の中でも自由に携帯を使えたほうがいい。
- 2 A：結婚生活のほうがいい。  
B：独身生活のほうがいい。
- 3 A：恋愛結婚のほうがいい。  
B：見合い結婚のほうがいい。
- 4 A：韓国人と結婚したほうがいい。  
B：日本人と結婚したほうがいい。
- 5 A：結婚前に同棲したほうがいい。  
B：結婚前に同棲はしないほうがいい
- 6 A：結婚したら、子どもは一人がいい。  
B：結婚したら、子どもは二人はいたほうがいい。
- 7 A：結婚したら、子どもがいたほうがいい。  
B：結婚したら、子どもはいないほうがいい。
- 8 A：結婚したら、親と同居したほうがいい。  
B：結婚したら、親と同居はしないほうがいい。
- 9 A：夫婦共働きがいい。  
B：夫婦のうち一人が働いて、もう一人が主婦／主夫をしたほうがいい。
- 10 A：インターネットで買い物をしたほうがいい。  
B：店に行って買い物をしたほうがいい。
- 11 A：日本語の他に英語を勉強したほうがいい。  
B：日本語の他に中国語を勉強したほうがいい。
- 12 A：ソウルで生活するほうがいい。  
B：地方都市で生活するほうがいい。
- 13 A：犬を飼ったほうがいい  
B：猫を飼ったほうがいい。
- 14 A：年上と付き合ったほうがいい。  
B：年下と付き合ったほうがいい。

ロールプレイでは、以下のような状況・役割から学習者が選択し、対話を行ったあと、ほかにどんな状況・役割が考えられるか挙げてもらうことで、教材が増え、充実してくる。

### ロールプレイ

#### 頼む

- 1 A：Bに自分の結婚式でスピーチをしてくれるように頼みます。

- B : Aの友人。頼みを引き受けます。
- 2 A : Bに翻訳してくれるように頼みます。  
B : Aの後輩。頼みを断ります。
- 3 A : Bに学祭のトーク・ショーにゲストとして出演するように頼みます。  
B : Aの友人の友人。頼みを引き受けます。
- 4 学祭で歌を歌うように頼みます。  
B : Aの友人。頼みを断ります。
- 5 お金を貸してくれるように頼みます。  
B : Aの友人。頼みを断ります。

#### 誘う・断る

- 1 A : Bをビヤホールで一緒にアルバイトしようと誘います。  
B : Aの友人。誘いを断ります。
- 2 A : Bをバーゲンに行こうと誘います。  
B : Aの友人。誘いを断ります。

#### 説得する

- 1 A : 2週間前に旅行先で出会った人と結婚しようとしています。  
B : Aの友人。やめるようにAを説得します。
- 2 A : リンゴだけ食べるダイエットを始めました。  
B : Aの友人。やめるようにAを説得します。
- 3 A : 大学をやめて芸能人になろうとしています。  
B : Aの友人。やめるようにAを説得します。

今後も授業を中心に学習者との接点を活用し、より学習者に合った教材を作成・改善していきたい。そしてさらに、学習者が自分に合った教材を志向し、積極的に教材の作成・改善に参加するシステムも構築していきたい。

#### 参考文献

- (1)大野晋・浜西正人(2002) 角川類語新辞典〈第34版〉角川書店
- (2)川口義一・横溝伸一郎(2005) 成長する教師のための日本語教育ガイドブック(上)  
ひつじ書房
- (3)杉田敏・浦島久(1985) 英会話質問帖 ジャパン タイムズ
- (4)日本語教育学会編(2005) 新版日本語教育事典 大修館書店
- (5)星野匡(2005) 発想法入門〈第3版〉 日経文庫
- (6)山内博之(2005) O P I の考え方に基づいた日本語教授法 ひつじ書房
- (7)吉田守和・長田裕敬(1996) 초급 에서 즐기는 쉬운 프리토킹 시사일본어사  
(初級から楽しむやさしいフリー・トーキング 時事日本語社)
- (8)渡辺浩子(2005) 大人数でレベル差の大きいクラスでの日本語会話授業の試み  
—韓国の日本語教育現場から— Web版実践研究フォーラム 日本語教育学会